

## 実施計画書（案）

事業名	円山動物園の森散策ガイドと自由散策
利用する動物	動物園の森に生息する爬虫類（カナヘビ、アオダイショウなど）両生類（エゾアカガエル、アマガエル、エゾサンショウウオなど）、軟体動物（エゾマイマイ、サッポロマイマイ、オカモノアラガイなど）、節足動物全般
目的	森の中で出会う身近な野生動物を、近接して見ることができるだけでなく、直接触れ、自然状態におけるそれらの振る舞い、におい、手触り、重さやひんやりとした感触、手の中での動きの力強さや構造の繊細さ、大きさ、羽ばたきの筋肉の震えなど、五感を通して受け取る体験をし、かつ適切なガイドがあれば、特に都市部で自然と切り離されて生きる現代人に対して、人も自然の一部であるという感覚を体感してもらい、生き物の大切さや身近な自然について興味関心をもつきっかけを提供できる。
場所	動物園の森
期間	散策ガイドは4月下旬～10月の第1・3土曜、第2・4日曜、第2・4木曜のAM10:30～とPM13:30～の約1時間、自由散策は6月と9月に各1日で10時から15時
対象	来園者
参加人数	散策ガイドは動物園の森ボランティア（以下、森ボラ）2～3名で各回先着8名程度、森ボラ4名以上で各回先着15名程度、自由散策は日によるが1日合計200名程度
内容	<p>【プログラムの流れ】</p> <p>散策ガイド</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 森ボラとともに森に入り、ザリガニ小屋前のマップを見て全体説明後、奥デッキへ向かい、季節の動植物を見ながら、カエル池まで散策をする。</li> <li>2 散策中に会った野生動物の一部を森ボラが一時捕獲し、観察を行い、説明を行う。 <u>※森の生態全体のガイドであるため野生動物の捕獲をメインとするわけではない。</u></li> <li>3 希望者には生体を持ってもらう。（一頭5分程度とし解放する）</li> <li>4 カエル池ではエゾアカガエル、エゾサンショウウオの幼生・幼体を、飼育ケースに入れ観察を行う。</li> </ol> <p>自由散策</p> <p>来園者が自由に散策する中、森ボラが巡回し適宜説明を行う。奥デッキとカエル池のブースにて、野生動物の展示・接触を行う。</p>
動物福祉の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一個体に対して繰り返し、または長時間ストレスを与えることは避ける。</li> <li>・触れることやケース等に入れて観察することで、その後の正常な行動を妨げる可能性がある行為は避ける。</li> <li>・実施の際は森ボラの同行時のみとし、指導をする。</li> </ul> <p>以下例...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両性類の幼生については容器に入れ、水中内で触れる程度とし、握ることはしないよう指導する。高温時は午前と午後で個体の入れ替えを行う。</li> <li>・個体の状態が良くない場合は、即解放する。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示動物だけでなく、参加者の安全にも十分配慮して実施する。</li> <li>・軟体動物を触った際は特に終了後手洗いをを行うよう指導する。</li> </ul>